

「よく学び、より鍛え、よりよく挑む」児童生徒の育成

与保呂川沿いの桜が4月の声を待ちきれずに見事に咲き誇り、本格的な春の風に包まれて新年度が幕を開けました。令和7年度 京都府立舞鶴支援学校の校長を拝命した南田 高典（みなみだ たかのり）と申します。よろしくお願い申し上げます。

京都府立舞鶴支援学校行永分校は、京都府立舞鶴こども療育センターの移転に伴い、平成28年に北吸分校と統合されてから10年目の節目を迎えました。隣接する独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センターに入院、または、京都府立舞鶴こども療育センターに入所している病弱・肢体不自由の児童生徒がともに学ぶ学校です。子どもたちが毎日元気に登校し、笑顔いっぱい学習して生き生きと学校生活を送ることができるよう、隣接する両センターと緊密に連携し、それぞれの子どもが自分らしくその力を存分に発揮して生活できるよう努めてまいります。また、子どもたちの状況を丁寧にアセスメントし、個別の指導計画に基づいて、基礎基本を大切にしながら個に応じた指導を行います。さらに、舞鶴支援学校本校と一体となって進める学校運営協議会等において各方面から学校と地域をつなげる様々な御提案と力強いエールをいただき、昨年度においてはいただいた意見をもとに「行永再発信計画」として、行永分校の児童生徒が元気に一生懸命に頑張っている姿を、様子を見て いる人々に発信する術について教職員で検討する機会をもち、具現化につなげようとしているところです。これからも舞鶴の人・文化・環境等の多様な社会資源を存分に活用しながら、子どもたちのよりよい自立と社会参加の実現に向けて教育活動を進めてまいります。

令和7年度は中学部1名の新入生を迎えました。本校の校訓「よく学び、より鍛え、そしてよりよく 挑め」の言葉にあるように、学びの場としての役割はもちろんのこと、様々な視点から子どもたちを磨き、高め、新たなことにも臆せず立ち向かっていく力をぜひ育てていきたいと考えています。今年度も保護者の皆様をはじめ、医療、地域、関係機関の皆様のより一層の御協力と御支援を切にお願いし、御挨拶とさせていただきます。

校長 南田 高典

